

脳神経外科外来で人參養栄湯の内服により 望ましい効果があった症例

医療法人樟立会 たちかわ脳神経外科クリニック (埼玉県) 立川 太一

脳神経外科・リハビリテーション科の外来では頭痛・めまいをはじめとした多彩な主訴に遭遇する。人參養栄湯を用いることでよい効果を得られたと感じた症例を多く経験しており、一部を紹介する。

Keywords 人參養栄湯、脳神経外科、外来

はじめに

脳神経外科・リハビリテーション科を標榜しているクリニックを開業し専ら外来診療を行っている。勤務医時代はあまり漢方薬を処方する機会がなかった。病棟から外来での診療に移ったことで一日当たりに診察する人数が増えた。多くの愁訴に触れるようになり、それぞれの病態を改善するためには何か良い方法がないかと模索する中で人參養栄湯に出会った。独特の味と細粒ゆえに口腔内に広がりやすく敬遠されることもあるが、優れた効果を実感し服薬の継続を希望する症例も多い。特に今まで他の方法を試しても改善しなかった症状が劇的に改善した症例もある。当院では人參養栄湯(以下、KB-108)を主に用いており、特に良い効果を得られた症例を報告する。

症例1 80歳 男性 身長: 180cm 体重: 60kg

起立性低血圧(OH: Orthostatic Hypotension)と良性発作性頭位めまい症(BPPV: Benign Paroxysmal Positional Vertigo)が難治だった。胃癌のため2/3切除を受けている。糖尿病、高血圧症、逆流性食道炎(GERD: Gastroesophageal Reflux Disease)の合併があった。頭部MRI/MRA検査では器質的異常はなく、重心動揺計も正常所見であった。慢性的に下肢の冷えを感じており、半夏白朮天麻湯(KB-37)7.5g/日を開始し2週間継続したが改善が乏しかった。KB-108に切り替えて2週間後再診したところ長年患っていた症状が劇的に改善した。

症例2 79歳 男性 身長: 172cm 体重: 61kg

57歳で左被殻から視床にかけての出血を発症。右片麻痺と感覚障害が重く残存した。当院初診は73歳。二次予防と後遺症のケアを受けている。T杖で自立歩行だが起立にも時間がかかった。右半身の視床痛と思われる症状に牛車腎気丸を試したが、効果はなかったが待合室から診察室に入るまでの歩行が早くなった印象があった。冬季になり冷えの訴えと一日一食しか食べていないとの情報があり、食欲増進作用も期待してKB-108に切り替えた。2週間後食事の回数は増えていなかったが、冷えの訴えもなく右半身の感覚異常も気にならなくなった。以後6年間継続しているが身体能力も維持され愁訴もない。

症例3 78歳 女性 身長: 142cm 体重: 44kg

左視床出血による視床痛がある。カルバマゼピン(CBZ: Carbamazepine)が他院で処方され、幾分右半身の視床痛が緩和されていたが歩行時のふらつきが増強して不便を感じていた。起立歩行も緩慢になっており体力低下も伴っていると考えKB-108を追加したところ元気になり視床痛の訴えも減った。化粧も行うようになった。現在はカルバマゼピンも使わなくなったがKB-108は継続している。

症例4 80歳 男性 身長: 165cm 体重: 63kg

現役で造園業に従事している物静かな紳士。陳旧性脳梗塞と左内頸動脈狭窄症があり二次予防のため10年以上外来通院している。冬場はハイネックにウールのジャケット、真夏でもジャケットを着用している。感冒に罹患することが多く葛根湯の頓服で対処していた。KB-108の内服を開始し感冒に罹患することが減り、体調を崩すことなく元気に過ごしている。

症例5 82歳 女性 身長:146cm 体重:43kg

アルツハイマー型認知症でうつ傾向がある。ドネペジルを内服している。KB-108を追加した。記銘力障害やうつ傾向に変化はないが通所リハビリテーションに通うことに抵抗しなくなった。

症例6 80歳 男性 身長:172cm 体重:75kg

陳旧性脳梗塞、高血圧症、高コレステロール血症があり二次予防のため抗血小板薬、降圧剤、HMG-CoA還元酵素阻害薬を内服している。胃サルコイドーシスを他院で加療されている。79歳の時、肺炎を患い入院加療を受けた。退院後まもなく妻が急死し独居となる。体力の低下が著しく、KB-108を追加した。2週間後の再診時には若干up-hillであった。さらに4週間後は肺炎前と同じぐらいの体力に回復していた。

症例7 56歳 男性 身長:172cm 体重:61kg

陳旧性脳梗塞の既往があり片頭痛と緊張性頭痛に悩んでいた。他院でトリプタン製剤が処方されていたが効果も乏しく虚血性疾患の既往もあるため望ましくないと判断し中止した。五苓散5.0g/日とワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液含有製剤を開始したところ片頭痛と思われる頭痛は減った。緊張性頭痛と思われる症状が残ったためKB-108を追加してから頭痛を訴えることはほとんどなくなった。

症例8 82歳 女性 身長:152cm 体重:52kg

75歳時、当院初診で頸肩腕症候群による緊張性頭痛と診断された。不定期に受診があったが、79歳の秋に元気がなくなり意欲も低下した。身体能力に目立った変化はなかったが、冷えの訴えがありKB-108を試したところ冷えは解消し元気を取り戻した。以後内服を継続し体調を崩すことはない。

症例9 84歳 男性 身長:176cm 体重:83kg

25歳の時、両側前頭葉の脳挫傷を患う。高齢になってから陳旧性脳梗塞とアルツハイマー型認知症が発覚した。

81歳で当院初診。傾眠傾向もあった。前頭葉の障害もあるためドネペジルによる易怒性を懸念しメマンチンを選択した。活動性は向上したが腹痛が出現したため中止した。精査したところ鼠径ヘルニアが腹痛の原因と分かった。メマンチンに対して抵抗感を感じているためKB-108を開始した。4週間後、メマンチンの時よりも活動性向上の効果が高く、日記をつけるようになった。1年後ドネペジルも追加したが懸念していた易怒性も出現せず良好な状態が維持できている。

症例10 85歳 女性 身長:146cm 体重:41kg

79歳の時、眩暈と記銘力障害を主訴に初診。頭部MRI/MRAでは器質的異常はなく、机上テストは良好で認知症ではないと判断された。重心動揺計も正常であった。結果を聞いて安心され特に処方はず様子観察したが同じような主訴で再診。やや表情も暗く冷えた印象だった。KB-108を試験的に開始したところ短期間で症状は改善した。5本/日の喫煙だけはやめられないことが悩みだが、以後6年間、KB-108以外の内服もないが一度も体調を崩さず、健康診断で異常を指摘されることもない。

症例11 74歳 女性 身長:150cm 体重:50kg

長年慢性頭痛で悩んでいた。頭部MRI/MRAでは器質的異常はなく頸肩腕症候群による緊張性頭痛の症例。元来冷え性。KB-108とワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液含有製剤が著効した。頭痛も冷え性もなくなった。

症例12 54歳 女性 身長:167cm 体重:68kg

頭痛が主訴。頭部画像診断では異常はなく頸肩腕症候群による緊張性頭痛と診断された。冷え性で運動機会もない。パソコンで図面を作成する仕事に従事し、片道1時間の電車通勤をしている。電車の中で座位のまま項垂れて寝てしまうことも多い。KB-108とワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液含有製剤を併用したところ頭痛は軽減し体調も良くなった。以後内服は不定期だが市販の鎮痛剤を使うことはなくなった。

なお、今回報告した症例のいずれにおいても薬剤に起因すると思われる副作用はなかった。

考察

人參養榮湯は栄養機能を担う血(ケツ)を補い養うということから命名された。消化吸収機能を整える補気薬の人參を含み、栄を養う補気補血剤である。似たような方剤に、十全大補湯と帰脾湯がある。十全大補湯との違いは、不安や不眠を軽減する安神薬の五味子(ゴミシ)と遠志(オンジ)が含まれ、咳嗽を軽減する作用がある点である。また帰脾湯は竜眼肉(リュウガンニク)、酸棗仁(サンソウニン)、木香(モッコウ)、生姜(ショウキョウ)、大棗(タイソウ)が配合され、より心身の疲れや抑うつ傾向や不眠に悩む方に有効である。

今回紹介した症例は高齢者が多く、明らかな呼吸器疾患で専門治療を受ける必要な状態ではないが、軽度の呼吸器症状を伴っていた可能性が考えられる。起立性低血圧がある場合は、フレイルのような体力や筋力が低下するような病態が潜んでいる恐れがある。多くの文献や報告にもある通りKB-108が状況の改善に寄与したと考えられる¹⁻⁴⁾。緊張性頭痛の原因に慢性疲労に由来する不活発や冷えが影響を及ぼしている場合もある。頭痛をターゲットとして人參養榮湯を選択したという報告はほとんど見られないが、病態によっては有効と考えられる。また加齢により疾病が増えポリファーマシーに陥っている患者さんが、人參養榮湯により体調が好転し結果的に内服薬の種類を減らせる可能性もあると思われる。

【参考文献】

- 1) 荒井秀典: 総説 フレイルの意義. 日老医誌 51: 497-501, 2014
- 2) 香山恭範 ほか: 高齢者のリハビリテーションにおける人參養榮湯の効果. phil漢方 78: 26-27, 2019
- 3) 寺山靖夫 ほか: 高齢者の転倒に対する人參養榮湯の後方視的研究. phil漢方 78: 16-19, 2019
- 4) 横澤智大 ほか: クラシエ人參養榮湯エキス細粒特定使用成績調査-フレイル症例におけるサブグループ解析- phil漢方 91: 20-25, 2022